

令和2年度

高森町一般会計補正予算（第3号）
概要書

地方創生に向けて“がんばる地域”応援事業

- エンタメ業界と連携したまちづくりと新産業創出プロジェクトの推進を目的に、地域経済等の分析・調査を実施します。

【現状と課題】

連携事業による国内外の人材等の受入れを見据え、生活やぐらしに必要な最新情報を分析・調査し、町の現状を把握する必要がある。移住後は地域で慢性化する労働力不足に関する貢献が期待できることから、地域の経済状況等についても最新情報が求められる。また、新産業の創出が新たに生み出す経済循環についても調査を行い、暮らしと仕事のマッチングが可能となる仕組みづくりが必要である。

【事業内容】

- ・RESAS及び地域DMO版ビッグデータを活用した地域、経済等の分析・調査（産業構造、観光客数（国内外）、消費動向（特にインバウンド関係））
- ・国内外の人材を受け入れるための町内経済団体等で構成する新団体設立による検討会の開催 等

【補助事業】

市町村振興宝くじ（サマージャンポ宝くじ）の収益金を財源に一般財団法人地域活性化センターが市町村等へ補助（補助率：100%（上限200万円））



事業費	補助額	一般財源
212万円	200万円	12万円

第3回くまもと国際マンガCAMP

- 海外クリエイター共同「高森版インバウンドおもてなしスキーム」の創造と「エンタメ×地域連携」世界情報発信による交流人口の創出に取り組みます。

【事業の目的】

高森町への移住に向けた機運を醸成し、漫画を通じ、高森町の魅力を世界中へ発信できる人材を誘致する。また、外国人観光客が好む「おもてなしスキーム」を参加者と共に創設し、特に観光客が落ち込む冬季シーズンにスポットを当て、本キャンプ開催の効果を地域へ還元する。

【事業内容（11月1日～7日を予定）】

- ①フィールドワーク『冬の楽しみ方』（冬キャンプ、星空観賞、草原ハイキングと乗馬、自然観察）
- ②有名漫画家・編集者による漫画スクールの開催【継続】
- ③「インバウンドおもてなし」ミーティング
- ④「熊本・阿蘇・高森」の情報発信（国内外）等



第2回くまもと国際マンガCAMPの参加者

【補助事業】

県の「地域づくり夢チャレンジ推進補助金」及びふるさと応援寄附金※を活用予定。

※ふるさと応援寄附金のうち「エンタメ業界と連携したまちづくり事業」に活用することを希望されている分を充当。（令和元年度寄附額：約1,460万円）

事業費	県補助額	基金繰入額	町負担額
1,240万円	738万円	502万円	0円

マイナポイント事業

- マイナンバーカードの普及を目的として、マイナポイント制度を導入するための事業に取り組みます。

『マイナポイント制度』とは…

キャッシュレス決済を利用した消費者に対して、国から付与されるポイントで、申請にはマイナンバーカードとマイキーIDが必要。

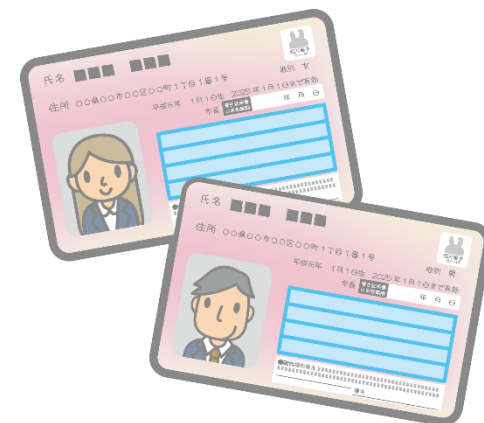
還元率は決済によって25%、上限5,000円分のマイナポイントが支給されることが決まっており、2020年9月から2021年3月末までの期間限定の施策。

【事業内容】

- ①マイナンバーカードやマイナポイントについてのリーフレット作成
- ②マイキーID設定のための環境構築（支援窓口、機器リース）
- ③マイナンバー制度周知のための機器リース

【補助事業】

国の「マイナポイント事業費補助金」を活用予定（補助率：100%）



事業費	補助額	一般財源
179万円	179万円	0円

地方創生推進交付金事業

- サイクルツーリズムの創出による観光客増加と地域の賑わいづくりを目指します。

【事業の目的】

2023年の南阿蘇鉄道全線復旧に向け、マウンテンバイクのコース造成やレンタサイクルの設置、イベント等を実施し、高森町及び鉄道沿線地域の賑わいづくりを目指す。

【事業内容】

- ・ハード事業-レンタサイクル購入、駅起点コースや本格的なマウンテンバイクコースの造成等
- ・ソフト事業-サイクリスト受入環境整備、情報発信・プロモーション等

【補助事業】

国の「地方創生推進交付金」を活用予定（補助率：50%）

補助裏には「一般補助施設整備等事業債」を借入予定

（充当率：90%、交付税措置率：30%）

⇒ただし、起債対象となるのはハード事業分（835万円）のみ。

ソフト事業分（1,155万円）については、

補助額（1/2）を差し引いた町負担分（577万円）のうち

5割が特別交付税で措置される。



事業費	補助額	起債借入額	交付税措置	実質負担額	予算書P21
1,990万円	995万円	370万円	399万円	596万円	

高森町降灰除去事業

- 道路に堆積した火山灰を清掃するため、路面清掃車を購入します。

【現状と課題】

阿蘇中岳は昨年4月に噴火警戒レベル1から2に引き上げられて以降、活発な噴火が継続しており、火山灰の堆積によって道路沿線などで粉塵が舞うなど住民生活に大きな影響が生じている。また、外側線や停止線が隠れ、車両のスリップも起きやすくなるなど、道路交通に大きな影響を与えている。

【対策】

(令和元年度)

国の貸付制度を活用し、路面清掃車を借受けて清掃を実施。

(令和2年度)

路面清掃車を購入し、運用を開始。

【補助事業】

国の「社会資本整備総合交付金」を活用予定（補助率：57%）

補助裏の経費は特別交付税措置（活動火山対策に係る経費：交付税措置率80%）



事業費	補助額	一般財源	特別交付税	実質負担額
4,000万円	2,280万円	1,720万円	1,376万円	344万円

予算書P22

新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業

- オンライン英会話等の遠隔授業により、児童生徒の技能向上や家庭での学習支援を実施します。

【事業内容】

- ①1対1でのオンライン英会話（講師とのマンツーマンでネイティブな英語学習）
- ②高森ふるさと学（総合的な学習の時間）におけるプログラミング授業などのオンライン支援
- ③阿蘇火山博物館とのオンライン学習
- ④町内で気温差のある2校での植物の検証栽培等の合同授業

【対象】

- ①高森中央小6年、高森東学園6年、高森中2年、高森東学園8年
- ②高森中央小3～4年
- ③高森中1年
- ④高森中2年、高森東学園8年

【補助事業】

国の実証事業として委託を受けて実施予定（補助率：100%）

- オンライン英会話について、経費の半分（中学生実施分）は補助対象外のため町負担となる。



事業費※	補助額	一般財源
692万円	450万円	242万円

予算書P23、24